



環状線



北野勇作

この駅だけやないけどな。まあここでもいっぱい死んだなあ。ちゅうか、いっぱい死ななアカンかったんやろなあ。うん、終わりにするためには、いっぱい死ななアカンかったんや。引っ込みつかんからな。いや、そら、死ななアカンかったちゅうのも無茶な話やけど、そういうのはほら、死ななアカンほうが決めるこっちゃないやん。まあ建前としては、不幸にしてお亡くなりになり、ちゅうとこやろけど、そんだけの数が死なんかったら、そのくらい死ぬまで続けたやろから、つまりそのくらいは死ななアカンかった、ちゅうことやで。えっ、違う。違うてか。尊い犠牲、てか。ほな、ためしにそんだけの数が死ぬちゅうのがどんだけのことか、いっぺん数えてみ。いやいや、数字だけではわかりにくいやろ。そやから、ほら、ここに転がってるのん、これひとつずつぜんぶ数えてみたらええがな。指が足らんかったらなんぼでも貸すで。猫の手、てなケチくさいこと言わんわ。ちゃあんと人の手でも足でも貸したるがな。そこらにぎょうさんあるやろ。いやいや、遠慮いらんて。どうせもう使うことあらへん。ああ、そら千切れたりとんだりしてちょっと足らんようになってるのもあるけど、そこはほれ、数でおぎなわんとな。そういうこっちら、こんだけ死ななアカンかった、ちゅうのも。うん、数やねん。ひとつふたつでは値打ちがない。値打ちやと思われへん。そやから数があるんやろなあ。さ、数えてみ。えっ、そうかあ？ できると思うけどなあ。でけへんの？ 数えるだけやで。でけへんの？ よおかんじょうせんのか？ はは、みな、そない言うねん。うん、それでやな。それでこの線路のことを、かんじょうせん、って言うんやで。いや、知らんけど。

(了)